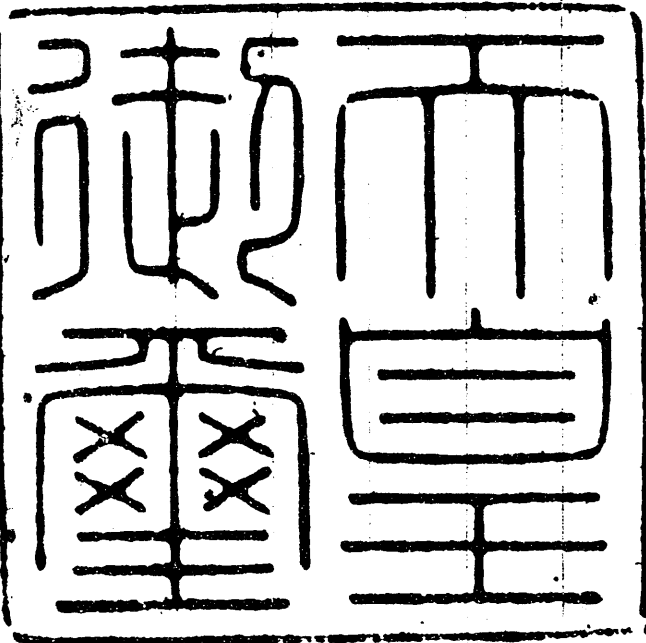


勅令第五百二號

朕水戸陸軍飛行學校令中改正ハ
件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

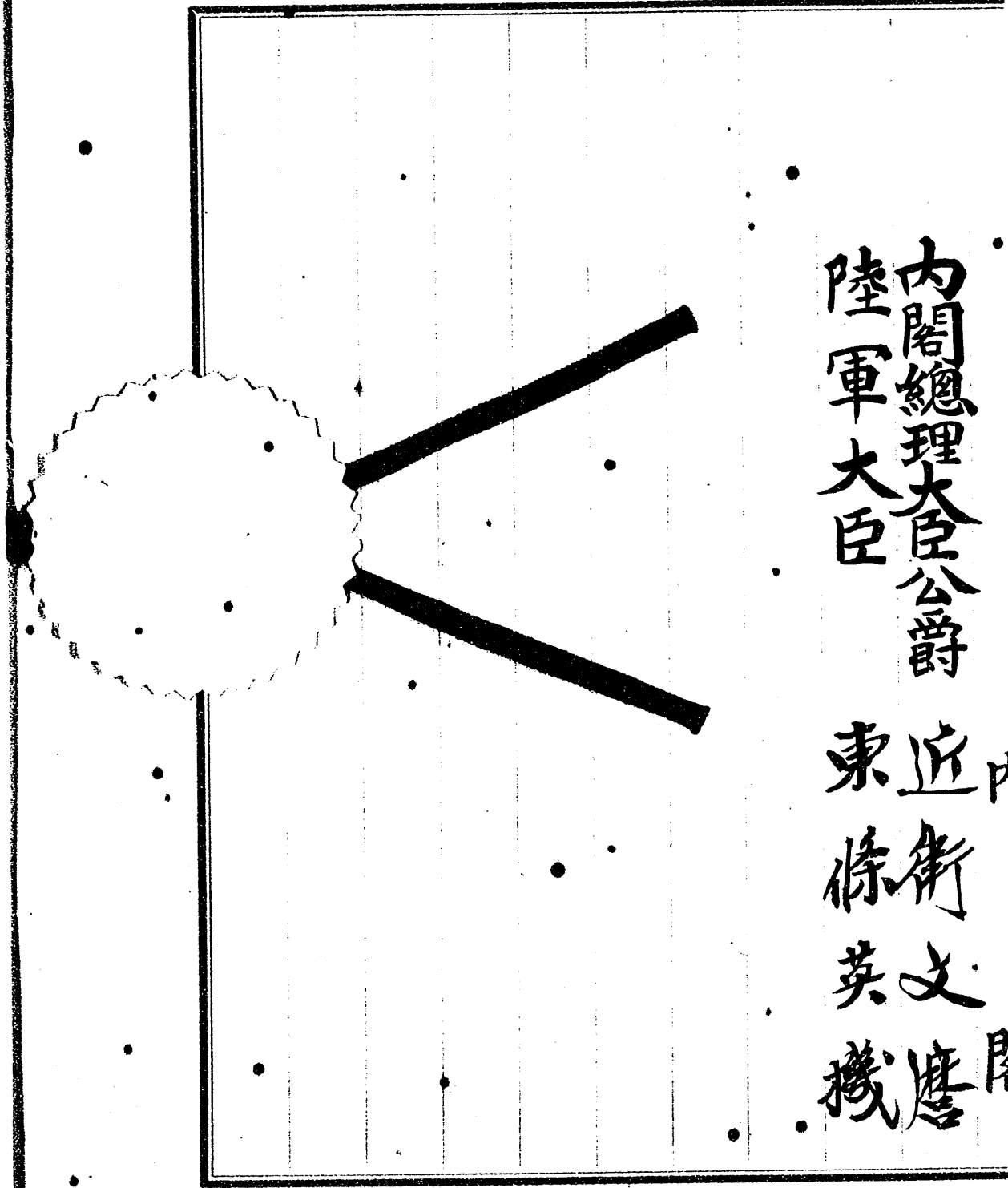
裕仁



昭和十五年七月三十一日

月

内閣總理大臣公爵 近衛文彦
陸軍大臣 東條英機



勅令第五百二號

水戸陸軍飛行學校令中左ノ通改正ス

第一條 第一項中「通信及火器」ヲ「火器及對空射撃」ニ、「通信、戰技」ヲ「戰技」ニ、「通信、對空火器等」ヲ「火器、對空射撃等」ニ改メ、「少年飛行兵ト爲スベキ生徒」ヲ削ル

第二條 學生ヲ分チテ左ノ四種トシ通常毎年二回入校セシム

甲種學生 航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ飛行機用火器ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概テ六月トス

乙種學生 航空兵科尉官ヲ以テ之ニ充テ對空火器ニ關スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概テ六月トス

丙種學生 航空兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ飛行機用火器ニ關

スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概テ六月トス

印
閣

スル學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ四月トス
丁種學生 航空兵科下士官ヲ以テ之ニ充テ對空火器ニ關スル
學術ヲ修習セシム其ノ修學期間ハ概ネ四月トス
必要ニ應ジ他兵科（憲兵科ヲ除ク）ノ尉官及下士官ヲ以テ學生
ト爲スコトヲ得

第三條 幹部候補生ハ各隊ヨリ分遣スル航空兵科中種幹部候補生
ヲ以テ之ニ充テ飛行機ノ武装、自動車又ハ高射機關銃（高射機
關砲ヲ含ム以下之ニ同ジ）ニ關スル學術ヲ修習セシム通常毎年
二回入校セシメ其ノ修學期間ハ飛行機ノ武装ニ關スル學術ヲ修
習スル者ニ在リテハ概ネ一年、自動車又ハ高射機關銃ニ關スル
學術ヲ修習スル者ニ在リテハ概ネ六月トス

第三條ノ二ヲ削ル

第四條 下士官候補者ハ各隊ヨリ分遣スル航空兵科下士官候補者
ヲ以テ之ニ充テ飛行機ノ武装、自動車又ハ高射機關銃ニ關スル
學術ヲ修習セシム通常毎年二回入校セシメ其ノ修學期間ハ飛行
機ノ武装ニ關スル學術ヲ修習スル者ニ在リテハ概ネ一年、自動
車又ハ高射機關銃ニ關スル學術ヲ修習スル者ニ在リテハ概ネ五
月トス

第六條、第七條、第十條、第十一條、第二十九條及第三十三條中
「生徒、」ヲ削ル
第九條中「通信、對空火器等」ヲ「火器、對空射撃等」ニ改ム
第三十條第二項ヲ削ル

第三十四條中「生徒、」及「生徒ニ在リテハ少年飛行兵、」ヲ削ル

第三十五條 下士官候補者中傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ修學期間内ニ所定ノ學術ヲ修メ得ザル者ニシテ尙望アリト認ムルモノハ之ヲ所要ノ期間滯學セシムルコトヲ得

第三十六條第一項中「生徒ニ在リテハ陸軍航空總監ヲ經テ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ、其ノ他ノ者ニ在リテハ」ヲ削ル

第三十七條第一項及第二項中「下士官學生」ヲ「下士官タル學生」ニ改ム

第三十八條 校長ハ幹部候補生卒業ノ期ニ至リタルトキハ其ノ修業成績書ヲ調製シ之ヲ陸軍航空總監ニ提出シ其ノ認可ヲ受ケ卒業

業者ニ卒業證書ヲ付與シ之ヲ離隊セシム

前項ノ場合ニ於テ陸軍航空總監ハ幹部候補生ノ修業成績書ヲ陸軍大臣ニ提出シ校長ハ各幹部候補生ノ修業成績書ヲ本人ノ所管長官ヲ經テ所屬部隊長ニ送付スルモノトス

第三十九條 削除

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス